

生物の共通性

生物のもつ主な共通点として、次の3つをあげることができる。

1. 体が細胞でできており、細胞の基本的な構造が同じである。

細胞の内部は、細胞膜によって外界から隔て^{へだ}られている。そのため細胞内は外界から独立した状態を保つことができる。細胞の中には、エネルギーを利用するしくみや遺伝情報が入っており、これらは生物の種類が違って共通に見られる。

5

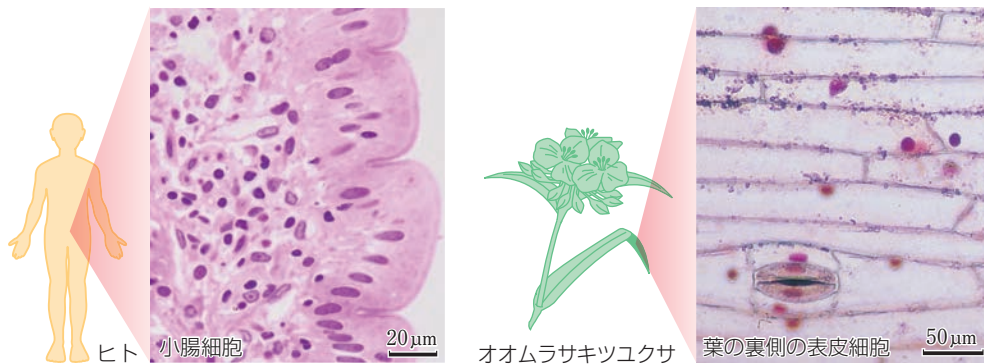


図5 生物は細胞からできている 細胞は見やすいように染色してある。

2. 自分自身とほぼ同じ形質(⇒ p.44)をもつ子をつくる。その際、遺伝物質としてDNA(⇒ p.44)を用いる。

遺伝において親から子へと直接伝わるのはDNAであり、この物質に含まれている情報をもとにして、新たに子の体がつくられる。

10



図6 生物は子をつくる